

## 한통련 뉴스레터

제15호

発行:在日韓国民民主統一連合（韓統連）

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284

メール chuo@korea-htr.org ホームページ https://chuo.korea-htr.org/

## 정세 情勢

## ●国会は国家保安法廃止案の審議をすぐさま開始せよ！



国会前で記者会見を行う「国家保安法廃止国民行動」

国会法制司法委員会は11月9日、全体会議を開き、国家保安法廃止、差別禁止法制定に関する国会同意請願など5件の請願に対する審査期間延長要求の案件を上程。同委員会は「十分な時間をかけてしっかり審査する必要がある」（「共に民主党」パク・グァンオン委員長）として、国会法に基づき審査期間を2024年5月29日（国会会期末）まで延期することを与野党一致で議決した。国会法125条5項によれば、国民同意請願は所管の常任委員会に回付され、最大5カ月間の審査を経て本会議付議の可否を決定することになっている。両請願はすでに5カ月が過ぎた状態だが、同条6項で「特別な事由がある場合」には所管常任委員会の議決で審査期間の延長が可能となっており、これを根拠にしたもの。

国会の延長措置に対して「国家保安法廃止国民行動」は10日、声明を発表し、「国民の重い意

思を軽視する行為であり、深刻な職務放棄だ」と糾弾。「延長決定は到底、容認も受容もできない」とし、「すぐさま国家保安法廃止案の審査と議決をするよう重ねて強く求める」と明らかにした。

73年間、民主と人権を圧殺し統一運動を弾圧してきた悪法・国家保安法。その廃止を求める世論は高揚し、国民行動の推進により10日余りで10万人の国民同意請願を実現し、そのなかで17年ぶりに与党議員による廃止法案も共同発議されるなど、同法廃止法案を具体的に国会の場にあげた。ところが国会は廃止案を審議するどころか与野党で延期を決定し、国民世論に完全に背を向けた。延期決定は、もともと国家保安法の廃止を望まない野党「国民の力」の意向に加えて、来年の大統領選挙を前にして、同法廃止で保守層をむやみに刺激したくない与党「共に民主党」の選挙戦略上の「配慮」が重なった結果なのは明らかだ。国会は延長を撤回し直ちに論議に入るべきであり、共に民主党は国民世論を尊重し、国家保安法廃止のために自身の多数議席を有効に使わなければならない。また、国民同意請願の趣旨は「国民の直接参与の機会を拡大する」だが、国会法の該当条項はこれを形骸化するもので、至急改善が求められる。国会は国民の声を聴くところから始める、これが存在意義のひとつだ。

## ●民主労総「全国労働者大会」決行／政府は弾圧を中止し対話に取り組み！

民主労総は11月13日午後、ソウル東大門で「全泰壹烈士精神継承全国労働者大会」を開催、約2万人の組合員が参加した。民主労総は同日午前、汝矣島広場で大会を開催する予定だったが、政府とソウル市の集会不許可方針に変わりがなかったことから、全泰壹烈士が働き闘った平和市場近くの東大門（交差点）に変更したもの。ユン・テックン委員長代行は主催者あいさつで「全泰壹烈士の精神継承とは、労働者が自己の運命を自らが切り開き、真の主人公として生きていくことだ」と

述べ、「5年前、1700万のキャンドルが叫んだ積弊清算と不平等な社会を大転換するための総決起を、労働者が先頭に立ち成し遂げよう」と訴えた。

全国民衆行動の朴錫運常任共同代表は連帯あいさつで、コロナ禍のなか大統領選挙候補者の遊説や保守団体の集会、数万人が集まるサッカー・野球競技は許容しながら、この日の大会など労働者集会だけ引き続き禁止することに対して、「これが民主主義か」と強く抗議。防疫は憲法で保障さ



「不平等打破、平等社会へ前進」のスローガンを掲げる大会参加者

れる「集会・結社の自由」に優先されるものではなく、両者は並行して保障されるべきだと強調した。朴氏は全国労働者大会の成果を受けて17日に全国農民大会、12月12日に全国貧民大会、来年1月15日に民衆総決起を行い、それらを成功させることでキャンドル革命に続く大抗争の勝利をかちとろうと力説した。民主労総は労働党、緑色党、社会変革労働者党、正義党、進歩党の進歩5政党代表とともに、「不平等打破と韓国社会大転換のための民主労総—進歩政党大統領選挙共同宣言」を発表した（情勢資料参照）。また大会決議文で、産業転換による雇用創出、医療、ケア、住宅、教育、交通を国家が全的に責任を持つ、根本的な役割の変化が必要だとし、労組の強化のために労組法など関連法の改正を求めた。民主労総は「労働者・民衆が求める社会が国家の目的とならなければならない」と強調した。一方、

同日午前11時には京畿道磨石・民族民主烈士墓地で、全泰烈士と李小仙オモニの追悼式と全泰一労働賞授賞式が開催された。

引き続き当局の一方的で理不尽な弾圧を跳ね返して、民主労総は全国労働者大会を執行した。コロナ禍のもと、労働者に犠牲を強いる不平等社会を打破し、民生がきちんと保障される平等社会の実現を求める声を上げた。民衆進歩陣営の連続する闘争計画も共有され、大統領選挙を控えて、進歩政党とともに共同闘争を展開することも明らかにされた。同大会は、民主労総が民衆闘争の中心軸としての役割を果たす、その決意を示す場ともなったようだ。民主労総に対する政府とソウル市の姿勢は相変わらずの強行一辺倒。ソウル市は全国労働者大会の参加者全員を告発すると息巻いている。一方で朴氏が指摘したように、韓国シリーズを迎える野球場とワールドカップ予選競技のサッカー場には、3万人前後の観客が詰めかけている。そうしたなか、防疫の責任者である中央災害安全対策本部長の金富謙首相が防疫措置に違反して会食したことが判明、金氏は謝罪し過料処分を受けた。防疫の二重基準がまかりとおり、防疫の責任者自らが規則を破る。民主労総への弾圧は意図的なものだとわざとをえない。政府とソウル市には弾圧を中止し対話することを強く求める。文在寅政権は公約である「労働尊重社会」の実現を放棄してはならない。

## 情勢資料

民主労総と進歩5政党は、11月13日に開かれた全国労働者大会で、大統領選挙に向けた共同宣言を発表し共同闘争を展開することを明らかにした。同宣言を紹介する。（※部分は補足・注釈）

### 不平等打破—韓国社会大転換のための民主労総—進歩政党大統領選挙共同宣言

文在寅政権の5年、コロナパンデミックの2年を経ながら、韓国社会の不平等は深まり、労働者・民衆の苦痛はこれ以上耐えられない困難な限界をこえている。これに加えて韓国社会はいわゆる少子高齢化が現実化しており、気候変動、デジタル転換による雇用危機が重なっている。

青年、女性、非正規職労働者、中小商工人らは現実に絶望しており、韓国社会のどこを見ても未来に対する希望を探し出せない。特権と規則違反により既得権を守ることに没頭する政治勢力に、これ以上、国と民衆の運命を任せることはできない。

韓国社会の進歩的発展と民衆の生存権のために、屈することなく闘ってきた民主労総と労働党、緑色党、社会変革労働者党、正義党、進歩党は、第20代大統領選挙を不平等打破—韓国社会大転換の契機とするために、次のように韓国社会大転換の課題を発表し共同闘争を繰り広げることがを宣言する。

#### 1. 正当な転換を通じて全人類的課題の気候変動に対応する。

○「2030年までに炭素排出50%以上を削減」を法制化を通じて果敢な転換を実現する。

○石炭火力発電所を早期閉鎖し脱原発原則に基づくエネルギー転換を実現する。

○再生エネルギーを拡大し民間発電所の再公営化など発電産業の公共性を強化する。

#### 2. 働くすべての市民の労働権、安全権、生活権を保障する。

○特殊雇用・プラットフォーム労働者（※会社・団体と個人事業主として契約し働く形態とデジタル情報通信技術が生み出した業種形態をいうが重なる場合が多い。宅配運転手、ゴルフキャディ、学習雑誌添削者、ウーバー配達者、カカオモビリティ代行運転者など。多くは労働者としての権利を認められていない）・フリーランサー（会社・団体などに所属せず仕事に応じて契約する業種。ジャーナリスト、作家、俳優、歌手、デザイナーなど広範囲にわたる）などすべての労働者の労働基本権を保障する。

○5人未満規模の事業場の労働者、短時間労働者などすべての労働者に例外なく勤労基準法を適用する。

○（※正規職と変わらない）常時業務に対する正規職雇用の原則を制度化し非正規職を撤廃する。

○重大災害処罰法・産業安全保健法を改正しすべての労働者に産業災害保険を適用する。

○最低賃金の大幅引き上げを通じた低賃金—非正規労働者の生活安定を実現する。

3. 労組活動する権利を拡大し産別交渉を活性化し雇用不平等を克服する。
  - 労働条件の実質権限を持つ真の経営者、使用者に交渉義務を課する。
  - 団体協約の効力拡張制度を改善し産別交渉を活性化する。
4. 雇用に対する国家責任を強化する。
  - 気候変動対応とデジタル転換において労働者主体の正当な対応と転換を実現する。
  - 保健医療従事者を拡大しケア事業に対する国家責任とケア事業の雇用を拡大する。
  - 再生エネルギー産業と国家基幹産業の公共性を強化し雇用を創出する。
5. 社会サービスの公共性を強化する。
  - 公共病院を拡大し公共医療システムを構築し医療公共性を強化する。
  - 社会サービス院法（※社会サービス院の設立と運営および支援に関する法）を改正しケア労働とケアサービスの公共性を拡大する。
  - 大学序列化を廃止し大学無償教育を実現する。
  - 鉄道統合、地下鉄公益赤字への支援、統合交通体系の構築とバス安全公営制を実施する。
  - 情報通信産業の公共性を強化し利用権を保障する。
6. 週4日労働制の導入により労働時間を短縮する。
  - 週4日労働制を導入し労働時間を短縮し雇用を拡大する。
  - 週16時間の最小労働時間により非正規低賃金労働者の生活安定を実現する。（※労働市場の不安定が深まるにつれ週15時間未満の超短時間労働者が増えている。この場合、生活に困窮するだけでなく法的に休暇制度や社会保険からも疎外される不利益を被るため、週当たり16時間以上の労働時間を保障しようという趣旨）
7. 経済民主化の実現、資産不平等の解消により土地と住居の公共性を拡大する。
  - 基幹産業とプラットフォーム産業の公共性を強化する。
  - 土地公概念に基づき宅地所有上限法・土地超過利得税法・開発利益還収を制定・改正する。
  - 宅地の公共開発と公共賃貸住宅を拡大し不動産投機を根絶し住居問題を解決する。
  - 財閥の業務用でない土地所有を禁止し不動産価格を安定化する。
  - 賃借人の住居権を保障し住居安定を実現する。
8. 性差別を解消し社会的少数者の人権を保障する。
  - 性別分業構造をなくし性別賃金格差を解消する。
  - 差別禁止法の制定により差別と排除のない社会を実現する。
9. ポストコロナ時代の国家運営を革新する。
  - 公共性強化、社会政策優位の経済財政政策へと転換する。
  - 医療公共性を強化し国民の生存権と基本権を保障する防疫安全体系を樹立する。
10. 朝鮮半島の平和体制を実現する。
  - 南北共同宣言の履行、韓米合同軍事演習の中止、平和協定の締結を通じて朝鮮半島の平和体制を構築する。
  - 思想と良心の自由を抑圧し対朝鮮対決政策を造成する国家保安法を廃止する。

## 활동보고 活動報告

### ●大阪で「韓国大統領選挙を考える集い」を開催



1月7日、大阪市生野区のKCC会館で「韓国大統領選挙を考える集い」が開かれた。主催は韓統連大阪本部。金隆司代表委員が主催者挨拶し、「来年の大統領選挙は改革勢力対保守勢力の争いになる。多くの在外同胞有権者が今回の選挙に投票して、韓国社会の積弊清算、南北対話を進める大統領を必ず選出しよう」と語った。

勢」をテーマに、金昌五副代表委員が講演（写真）。金副代表委員は韓国歴代大統領と韓国現代史を振り返るとともに、今回の選挙の歴史的意味を△独裁政権への回帰を阻止する△検察・保守言論などの積弊清算を本格的に推進する△平和・繁栄・統一へ前進することにあると述べ、「現在、韓国では政権交代論の世論が拡大している」と指摘。「文在寅政権が支持率を上げるためには停滞している南北関係を改善しなければならない」「絶対に独裁に回帰させてはならない。キャンドル革命の力を総結集した大衆運動を展開して選挙に勝利しよう」と訴えた。

講演後は、崔誠一事務局長が「大統領候補の素顔と主な公約」の紹介と大統領選挙を追体験



する模擬投票を実施し、在外選挙人登録と投票方法を解説。朴槿洙韓青大阪府本部常任委員から意見表明が行われ、最後に金昌範副代表委員が閉会挨拶を行った。

※講演動画を韓統連ユーチューブチャンネルで公開しています。ぜひ御覧ください

<https://youtu.be/Aq3aDnYF6ZM>

## 행사예정 行事予定

### 11月

#### 映画「私はチョソンサラムです」上映会(三重)

日時: 11月28日(日)午後1時開始 場所: 四日市市総合会館

内容: 映画上映、出演者をまじえてのパネルディスカッション

主催: 同実行委員会 連絡先: 090-9021-4879

### 12月

#### 第25回伊丹マダン(兵庫)

日時: 12月5日(日)午前10時～午後5時 場所: 伊丹スワンホール

内容: 映画「アイたちの学校」上映、ちゃんへんさん公演、子どもコーナーなど

主催: 同実行委員会 連絡先: 090-6065-4857

#### 第16回韓統連愛知セミナー(愛知)

日時: 12月12日(日)午後1時半開場、午後2時開始 場所: 日本特殊陶業市民会館

内容: 「韓国大統領選挙と南北・朝米関係の変化」講師: 康宗憲韓国問題研究所代表

主催: 韓統連愛知本部 連絡先: 080-3281-5413

#### 2022年韓国大統領選挙を考える兵庫の集い(兵庫)

日時: 12月12日(日)午後1時30分開場、午後2時開会 場所: 尼崎市中小企業センター

内容: 講演「韓国大統領選挙と朝鮮半島情勢」講師: 金昌五韓統連大阪本部副代表委員、解説「候補者たちの素顔と選挙公約」、在日同胞の登録・投票案内

主催: 韓統連兵庫本部 連絡先: 090-5016-6352

#### 韓国大統領選挙を考える京都の集い(京都)

日時: 12月19日(日)午後3時開会 場所: 下京青少年活動センター

内容: 講演「韓国大統領選挙と朝鮮半島情勢」講師: 金昌五韓統連大阪本部副代表委員、解説「候補者たちの素顔と選挙公約」、在日同胞の登録・投票案内

主催: 韓青京都府本部 連絡先: 03-4400-5331

#### 韓国大統領選挙を考える集い(神奈川)

日時、場所-調整中

内容: 講演「韓国大統領選挙と朝鮮半島情勢」講師: 李俊一総務部長、解説「候補者たちの素顔と選挙公約」、在日同胞の登録・投票案内

主催: 韓統連神奈川本部 連絡先: 090-1049-4261

### 1月

#### 映画「私はチョソンサラムです」上映会(広島)

日時: 1月16日(日)午後1時30分開場 場所: 広島市西区民文化センターホール

内容: 映画上映、出演者をまじえてのトークイベント

## 編集後記

12月、映画「私はチョソンサラムです」がいよいよ韓国の映画館で公開されます!金哲民監督とは統一マダンで知り合ってから10年以上の付き合いになりますが、今回の映画撮影の際には、本当に粘り強く様々な在日同胞の方を取材されていました。在日同胞の生きる姿を余すところなく描いたこの映画が、少しでも多くの方に届くことを願っています(李)

韓統連ニュースレターは毎月2～3回、Eメールで配信しています。

配信をご希望の方は下記のアドレスまでご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください) 配信申込: [chuo@korea-htr.org](mailto:chuo@korea-htr.org)